



日時	9月22日(木)
場所	宮城県本吉郡南三陸町
参加人数	12名(男性10名、女性0名、事務局2名)

● 活動内容



今回は、戸倉地区の波伝谷漁港の近くにある自然環境活用センターの隣で、瓦礫の撤去を行いました。

台風15号の影響で東海道新幹線をはじめ多くの鉄道が運休となり、やむなく参加を断念された方もいたため、予定よりも少人数での作業となりました。

この地域は津波の被害が未だ残っているところが多く、車が横転したまま放置されていたり、半壊状態の家屋などが見受けられました。その光景は、被害の痛ましさを感じると同時に、ボランティア活動に取り組む意志をより一層強めるものでした。しかし、雨脚は徐々に強くなり、前日の台風の影響もあり、道路が寸断されるおそれもあったため、作業は早めに終了となりました。



あいにくの天候で、十分に作業を行えなかったことが非常に残念でした。今回一緒に活動したボランティアリーダーは、自分の車で寝泊りしながらボランティアを続けていると聞き、その献身的な活動の様子や熱意にみな感銘を受けました。私たちもこの未曾有の災害に対して何ができるのかと、自らに問いて、活動を続けていこうと考えました。